

「食育」読み聞かせ資料

# ちよこつと食通信



掲示用

No.236 令和5年7月発行

たなばた 七夕にそうめんを た り ゆう 理由

7月 日( )

たなばた おりひめ ひこぼし ねん いちど あ ひ ゆうめい はたお  
七夕は織姫と彦星が年に一度会える日として有名ですね。織姫は機織りが  
じょうず 上手なので、糸いとに似ているそうめんを食べると、お裁縫さいほうが上手になるといわれ  
ています。

ちゅうごく 中国からそのお話の元となる星伝説が伝わったのは奈良時代で、その頃は  
さくべい 索餅という、縄なわのように太いお菓子ふとをお供えしていたそうです。それがそうめん  
げんけい の原形です。その後、時代とともに麺めんを細くする技術ほそが伝わり、江戸時代には  
いま 今の細さになりました。

きょう きゅうしよく 今日きょうの給食にはそうめん汁じりを提供ていきょうしています。オクラかたちの形が星のようです  
ね。七夕よるの夜には天あまの川がわも見てみましよう。

